

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

下部食道括約筋と幽門括約筋の病理・解剖学的相違についての検討		
1. 研究の対象および研究対象期間 2014 年 03 月 24 日から 2026 年 06 月 30 日に昭和医科大学江東豊洲病院消化器センターで食道アカラシアに対する POEM 治療を受けた患者さん・胃不全麻痺に対し G-POEM 治療を受けた患者さん・食道癌にたいし食道切除術を受けた患者さん・膵癌/胆道癌にたいし膵頭十二指腸切除術をうけた患者さん		
2. 研究目的・方法 近年、治療の低侵襲化のために内視鏡治療の発展が目覚ましく、食道アカラシアに対する POEM 治療や胃不全麻痺に対する G-POEM など開発されてきました。この二つの治療は、内視鏡によって括約筋の筋層を切開するという手術であり、似ているように見えますが、実は形態学的に決定的な違いがあります。食道アカラシアで切開する下部食道括約筋には筋層の病的な肥厚はなく、胃不全麻痺で切開する幽門括約筋は病的に肥厚しているのです。この事実は、未だに病理・解剖学的に証明されてはならず、切開の手法に大きな違いをもたらしていることは周知されていません。 今回、POEM 治療・G-POEM 治療の手術中の状況の比較だけでなく、外科的手術の切除検体での括約筋の比較をもとに、この事実を検証すべく、今回の研究を計画いたしました。		
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 12 月 31 日まで		
4. 研究に用いる試料・情報の種類 情報：患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、入院日、手術日、退院日、既往歴、入院期間）、選択した治療（適応基準、治療時間、出血量、治療動画）、臨床検査項目（血液、生化学、CT 画像、病理組織）		
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。		
6. 研究組織 研究責任者 昭和医科大学江東豊洲病院 石田 幸子 研究分担者 昭和医科大学江東豊洲病院 井上 晴洋		

昭和医科大学江東豊洲病院	田邊 万葉
昭和医科大学江東豊洲病院	山本 和輝
昭和医科大学江東豊洲病院	鬼丸 学
昭和医科大学江東豊洲病院	大塚 耕司
昭和医科大学江東豊洲病院	出口 義雄
昭和医科大学江東豊洲病院	南雲 祐
昭和医科大学江東豊洲病院	九島 巳樹
昭和医科大学江東豊洲病院	横山 登

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学江東豊洲病院 氏名：石田 幸子

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000